

三原公園・泉ヶ丘緑道の整備プラン



新設 遊具広場
 子ども同士が楽しみながら遊びを創造できる遊具を設置します。
 保護者も一緒に楽しみ、見守れるようベンチ等の休憩施設を設置します。

改修 交流・休憩広場
 樹木や地形変化を活かした段状の広場を整備します。

改修 主園路 (舗装幅約6~8m)
 イベント時でも人が行き来できる幅を確保します。

改修 休憩コーナー
 長ベンチを補修し、活用します。舗装を改修します。

改修 サークル広場
 近隣センターとの結節点を印象づけるデザインにします。

改修 サークル広場
 エントランスとしての結節点を印象づける空間として舗装等を改修します。

改修 交流・休憩広場
 長ベンチを設置し、木もれ日の中で憩い、交流できる空間を整備します。

新設 ステージ
 イベント等に使える空間を整備します。

改修 木もれ日広場
 坂道の途中に、休憩できるベンチを設置します。林の中で遊びや散策ができる空間として活用します。

新設 健康広場
 健康づくりのきっかけとなる健康遊具を設置します。

改修 木もれ日広場
 林の中で遊びや散策ができる空間として活用します。

改修 サブ園路 (舗装幅約2~3m)
 遊び、健康運動の機能を取り入れます。

けんけんば 迷路

改修 みんなの広場 (約4,500㎡)
 ノンバを生やし、活発な活動ができる広場を整備します。

三原公園は、自然地形を活かし、施設の機能向上を行います。多様な広場を地域活動の拠点にしていきます。

泉ヶ丘緑道は、良好な見通しと適度な明るさを確保し、誰もが安心して、ウォーキング等の健康づくりができるスポットをつくっていきます。

三原公園の遊具広場（1期）



自分の運動能力に応じた遊び方ができる複合遊具です。垂直、水平といった安定した場所がなく、すべての部材が傾斜や曲面で構成されているので、子どもたちは重心のかかる位置を意識しながら、自分の意志どおり体のバランスをとることを要求されます。また、ロッキングハンモックで休憩し、次の遊びへの準備をする場所もあります。

子どもたちが「できた」という達成感と同時に、仲間との競争のなかで自信をつけていきます。またバランス能力を高め、普段使うことのない筋肉の強化もはかり、総合的な身体能力を高めます。



協力して傾けたり、各々が自分の方に傾くよう競ってみたりと、全身を使ったバランス遊びが楽しめます。



傾斜した輪がダイナミックに回転する、まったく新しいタイプのバランス遊具。ひとりで自分の可能性に挑戦することももちろん、グループで遊ぶこともできます。シンプルな中にもチャレンジする楽しさがあふれています。

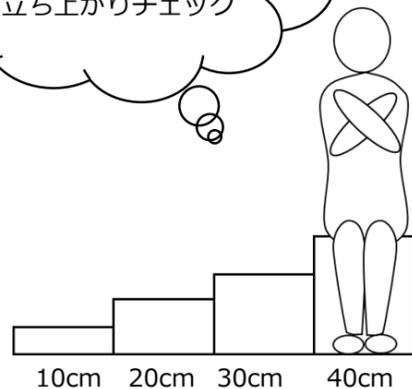
ポールをつかみ乗ると、スピーディーに回転します。どのような動きをするのか、何度もチャレンジしてマスターしていきましょう。



三原公園の健康広場（2期）

自分の健康状態を知り、定期的に運動機能をチェックできるエリアを設けます。エリアでは、曲線や丸、直線などの路面標示により、ジャンプやステップ、ライン上をはみ出さずに歩くなどにより、歩幅や多様な動きのチェックを楽しめます。また、エリア内にある高さの異なる台（椅子）では、片足または両足で座った姿勢から立ち上がることで、下肢筋力のチェックも行えます。

10cm～40cmまでの高さが異なるベンチで立ち上がりチェック



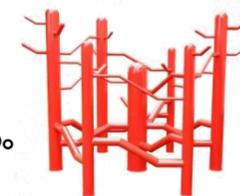
三原公園の交流休憩広場（2期）

イベント等で使えるステージや交流・休憩ができる広場として四阿（あずまや）やベンチを設置します。四阿やベンチは災害時にテントやかまどとして使うこともできます。また、幼児用遊具を設置し、休憩しながら見守ることもできます。



災害時にはテントにもなる四阿

木のぼりのような遊びができるジャングルジム



泉ヶ丘緑道の休憩コーナー（1期）

大人も子どももひと休みできる空間として、今ある長ベンチを補修し、真ん中に円形遊具を置きます。



円形遊具

その他公園施設

- 照明灯の更新、増設を行います（1期・2期）
- みんなの広場の芝生化や樹木の更新を行います（2期）
- 木もれ日広場やサブ園路の整備を行います（2期）
- 三原公園のトイレ前に防犯カメラを設置します（2期）